



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社 コモ

上場取引所 東 名

コード番号 2224 URL <http://www.como.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 克己

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 財務経理部長兼経営企画室長 (氏名) 平光 伸行

TEL 0568-73-7050

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,332	11.0	81	△35.9	84	△36.0	48	△41.2
2022年3月期第3四半期	4,805	—	127	△64.3	132	△62.9	82	△65.4

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 57百万円 (△30.3%) 2022年3月期第3四半期 82百万円 (△65.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	14.01	—
2022年3月期第3四半期	23.82	—

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。この影響により、2022年3月期第3四半期の売上高については、当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前年四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	5,289	1,997	37.8	574.79
2022年3月期	4,716	1,964	41.6	565.29

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 1,997百万円 2022年3月期 1,964百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	1.4	165	△22.5	163	△25.6	100	△29.1	28.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	3,630,000 株	2022年3月期	3,630,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	155,422 株	2022年3月期	155,422 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	3,474,578 株	2022年3月期3Q	3,474,647 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大やウクライナ情勢の長期化等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、原材料費、エネルギー価格や物流コストの高止まり等に起因する物価の上昇により、消費者の節約志向・生活防衛意識は依然として高く、引き続き厳しい経営環境となりました。

こうしたなか、当社グループは、パネトーネ種の特長を活かした新製品の開発、品質の改良、新たな販路の開拓等に努めました。新製品としましては、「神戸珈琲職人」のコーヒー入りカフェオレ風味クリームを生地で包み焼き上げた「カフェオレ小町」を発売したほか、PB製品5品、海外販売用製品4品を発売しました。

売上高につきましては、コンビニエンスストアにおける取扱い製品の減少等の影響はあったものの、量販店、卸問屋、自動販売機オペレーター等において堅調に推移し、前年同期を上回る結果となりました。

利益面につきましては、売上高は増加したものの、小麦粉等原材料費やエネルギーコスト高騰等の影響が大きく、前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は53億3千2百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益8千1百万円（前年同期比35.9%減）、経常利益8千4百万円（前年同期比36.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4千8百万円（前年同期比41.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億7千2百万円増加し、52億8千9百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加（4億1千4百万円）、受取手形及び売掛金の増加（1億9千2百万円）、建物及び構築物の増加（2千7百万円）、機械装置及び運搬具の減少（6千4百万円）などによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ5億3千9百万円増加し、32億9千2百万円となりました。これは、主に買掛金の増加（3億2千9百万円）、短期借入金の増加（1億5千万円）、未払金の増加（1億9千1百万円）、長期借入金の減少（1億3千7百万円）などによるものであります。

なお、純資産は、前連結会計年度末に比べ3千3百万円増加し、19億9千7百万円となり、自己資本比率は37.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	228,522	643,173
受取手形及び売掛金	1,003,569	1,196,336
商品及び製品	72,812	46,141
仕掛品	10,440	1,683
原材料及び貯蔵品	86,018	108,959
その他	25,493	39,826
貸倒引当金	△21	△25
流動資産合計	1,426,835	2,036,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	510,419	538,156
機械装置及び運搬具(純額)	825,599	761,515
土地	1,356,957	1,356,957
リース資産(純額)	169,835	147,684
建設仮勘定	—	1,271
その他(純額)	32,998	35,293
有形固定資産合計	2,895,811	2,840,878
無形固定資産	65,224	73,432
投資その他の資産		
投資有価証券	168,860	181,337
繰延税金資産	72,222	62,411
その他	87,371	95,023
投資その他の資産合計	328,454	338,772
固定資産合計	3,289,490	3,253,084
資産合計	4,716,325	5,289,181

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	342,394	672,307
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
短期借入金	983,328	1,133,328
リース債務	61,175	54,170
未払金	223,983	415,613
未払法人税等	10,455	3,689
賞与引当金	63,660	15,139
その他	145,802	186,191
流動負債合計	1,930,799	2,580,439
固定負債		
長期借入金	526,688	389,192
リース債務	131,987	114,295
役員退職慰労引当金	115,965	125,077
退職給付に係る負債	43,996	80,229
その他	2,746	2,791
固定負債合計	821,383	711,585
負債合計	2,752,182	3,292,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	222,000	222,000
資本剰余金	134,400	134,400
利益剰余金	3,853,946	3,878,301
自己株式	△306,230	△306,230
株主資本合計	3,904,116	3,928,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,316	1,341
土地再評価差額金	△1,932,656	△1,932,656
その他の包括利益累計額合計	△1,939,973	△1,931,315
純資産合計	1,964,142	1,997,156
負債純資産合計	4,716,325	5,289,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	4,805,384	5,332,803
売上原価	3,290,838	3,788,200
売上総利益	1,514,546	1,544,602
販売費及び一般管理費	1,386,915	1,462,774
営業利益	127,630	81,827
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	3,879	4,827
受取家賃	1,942	1,965
その他	9,261	5,739
営業外収益合計	15,085	12,533
営業外費用		
支払利息	9,301	8,503
その他	620	898
営業外費用合計	9,922	9,402
経常利益	132,794	84,958
特別利益		
固定資産売却益	199	—
特別利益合計	199	—
特別損失		
固定資産除却損	150	145
特別損失合計	150	145
税金等調整前四半期純利益	132,843	84,813
法人税、住民税及び事業税	28,705	30,143
法人税等調整額	21,364	5,992
法人税等合計	50,069	36,136
四半期純利益	82,773	48,677
親会社株主に帰属する四半期純利益	82,773	48,677

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	82,773	48,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△509	8,658
その他の包括利益合計	△509	8,658
四半期包括利益	82,264	57,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,264	57,335

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

前第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

当社グループは、ロングライフパンの製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。